

AUTO-REPEATING SYSTEM FOR KEYBOARD INPUT

Publication number: JP4273313

Publication date: 1992-09-29

Inventor: MATSUSHITA SATORU

Applicant: NEC SOFTWARE KOBE

Classification:

- international: G06F3/02; G06F3/023; H03M11/10; H03M11/12;
G06F3/02; G06F3/023; H03M11/06; (IPC1-7):
G06F3/02; G06F3/023; H03M11/10; H03M11/12

- European:

Application number: JP19910033766 19910228

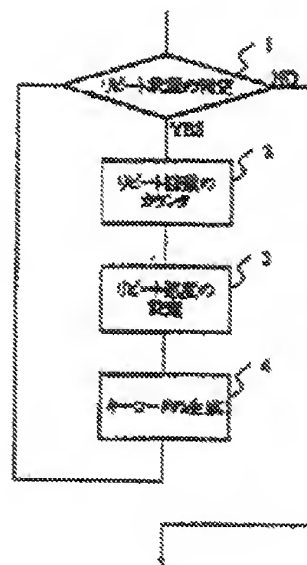
Priority number(s): JP19910033755 19910228

Report a data error here

Abstract of JP4273313

PURPOSE: To improve the keyboard input efficiency with a computer provided with a keyboard that has an auto-repeating function by increasing the auto-repeating speed in response to the repeating frequency.

CONSTITUTION: The key repeating state is decided in a step 1, and the key repeating frequency is counted in a step 2 and in a repeating state. Then a key repeating speed is set in a step 3 so that the key repeating speed is increased in response to the key repeating frequency. In a step 4 a key code is generated in response to the repeating speed set to a relevant key.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平4-273313

(43) 公開日 平成4年(1992)9月28日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	P I	技術表示箇所
G 0 6 F 3/02	3 2 0 C	7313-5B		
H 0 3 M 11/10				
		7313-5B	G 0 6 F 3/023	3 1 0 J
			審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)	

(21) 出願番号 特願平3-23766

(22) 出願日 平成3年(1991)2月28日

(71) 出願人 060192545

神戸日本電気ソフトウェア株式会社

兵庫県神戸市西区高塚台5丁目3番1号

(72) 発明者 松下 哲

兵庫県神戸市西区高塚台5丁目3番1号神

戸日本電気ソフトウェア株式会社内

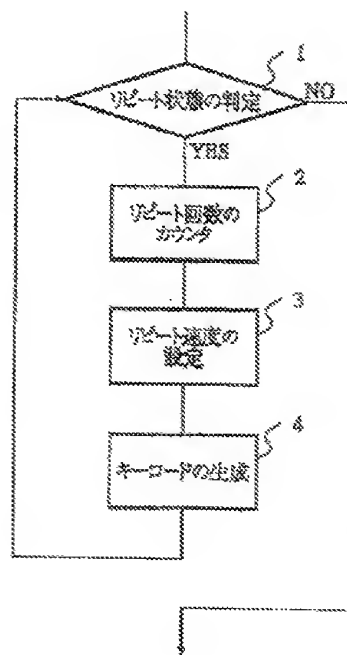
(74) 代理人 弁理士 内原 晋

(54) 【発明の名称】 キーボード入力のオートリピート方式

(57) 【要約】

【構成】ステップ1で、キーのリピート状態を判定する。リピート状態のときに、ステップ2で、キーのリピート回数のカウントを行う。次に、ステップ3で、キーのリピート回数に応じて加速させるように、キーのリピート速度の設定を行う。さらに、ステップ4で、そのキーに対して設定したリピート速度に応じてキーコードの生成を行う。

【効果】オートリピート機能付きキーボードを持つコンピュータで、オートリピート速度をリピート回数に応じて加速させることにより、キーボード入力を能率良く行える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 オートリピート機能付きキーボードを持つコンピュータに対するキーボード入力のオートリピート方式において、キーコードを生成するときに同一のキーのリピート回数を計数するリピート回数カウント手段と、前記リピート回数カウント手段で計数したリピート回数に応じてリピート速度を変更するリピート速度設定手段と、実際に同一のキーコードを繰り返し生成するリピートキーコード生成手段とを具備し、リピート速度をキーの押下時間に応じて加速することを特徴とするキーボード入力のオートリピート方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明はキーボード入力のオートリピート方式に関し、特にコンピュータに対するキーボード入力のオートリピート方式に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のコンピュータに対するキーボード入力のオートリピート方式は、リピート回数にかかわらず、キー入力制御プログラムにより、一定の速度でオートリピートを行っている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 一般に、パーソナルコンピュータのキー入力時に、例えば、カーソルの移動キーを押し続けて、カーソルを目的の位置に移動するときに、現在のカーソル位置から離れた位置に移動する場合では、リピート速度は速い方がよい。しかし、常に現在のカーソル位置の近くに移動する場合では、リピート速度は遅い方がよい。

【0004】 上述した従来のコンピュータに対するキーボード入力のオートリピート方式は、リピート速度が一定であるために、目的の位置を行き過ぎたり、あるいは目的の位置に至るまでに長時間を待たされたりするという欠点を有している。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明のキーボード入力のオートリピート方式は、オートリピート機能付きキーボードを持つコンピュータに対するキーボード入力のオートリピート方式において、キーコードを生成するときに同一のキーのリピート回数を計数するリピート回数カウント手段と、前記リピート回数カウント手段で計数したリピート回数に応じてリピート速度を変更するリピート

ト速度設定手段と、実際に同一のキーコードを繰り返し生成するリピートキーコード生成手段とを具備し、リピート速度をキーの押下時間に応じて加速することにより構成されている。

【0006】

【実施例】 次に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

【0007】 図1は本発明のキーボード入力のオートリピート方式の一実施例を示す流れ図である。

【0008】 本実施例は、図1に示すように、ステップ1で、キーのリピート状態を判定し、ステップ2で、キーのリピート回数のカウントを行い、ステップ3で、キーのリピート速度の設定を行い、ステップ4で、キーコードの生成を行っている。

【0009】 ここで、本実施例でオートリピートによるキー入力が続いた場合を説明する。

【0010】 まず、ステップ1のキーのリピート状態の判定がオートリピート状態でない場合には、ステップ2のキーのリピート回数のカウント、ステップ3のキーのリピート速度の設定、ステップ4のキーコードの生成の処理を行わずに、以降の処理に移る。

【0011】 また、ステップ1のキーのリピート状態の判定が、キーのリピート状態を検出すると、ステップ2のリピート回数のカウントで、リピート回数をカウントして、ステップ3のリピート速度の設定で、リピート回数に応じてリピート速度を設定し、ステップ4のキーコードの生成で、設定されたリピート速度に応じてキーコードを生成する。

【0012】

【発明の効果】 以上説明したように、本発明のキーボード入力のオートリピート方式は、オートリピート機能付きキーボードを持つコンピュータで、キーのオートリピート速度をリピート回数に応じて加速させてキーボード入力を能率よく行えるという効果を有している。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明のキーボード入力のオートリピート方式の一実施例を示す流れ図である。

【符号の説明】

- 1 リピート状態の判定
- 2 リピート回数のカウント
- 3 リピート速度の設定
- 4 キーコードの生成

(3)

特開平4-273313

【図1】

